

国語の授業開き

1 時間目

- 1、授業に必要な物（副教材など）の配布、名前の記入などをまず行う。
- 2、国語の授業のオリエンテーション
- 3、国語の授業として自己紹介（スピーチ）をさせることを伝える。
- 4、下記のルールを伝える。
- 5、モデルスピーチ（教師の自己紹介）

2 時間目

- 1、スピーチ準備（プリント配布）各自で記入15分ほど
- 2、60秒を計り、一斉に心の中でスピーチをさせる。（教師は、15秒、30秒、45秒、60秒、75秒を知らせる）
- 3、修正、推敲させる。
- 4、再度、心の中でスピーチをさせる。（2と同様）
- 5、スピーチの順番を決める。

3 時間目

- 1、スピーチのルール（留意事項）の確認、共通理解
- 2、評価表配布
- 3、スピーチメモ（前時のプリント）を準備させる。
- 4、60秒を計り、一斉に心の中でスピーチをさせる。（教師は、15秒、30秒、45秒、60秒、75秒を知らせる）
- 5、スピーチ開始。

* 1時間ですべての生徒がスピーチ終了すること（条件の平等）

* ストップウォッチの準備

話し手

- ・言いたいことが効果的に伝わるように、スピーチの構成を考える。
相手意識...先生とクラスみんなへ（声の大きさ、速さ、視線など）
目的...自己紹介
条件...時間は60秒（限りなく近づける）
- ・自席で起立をして、多くの人が聞けるような向きで待つ。
- ・「よーい、スタート」という先生の指示を受けて、スピーチを始める。
- ・最後は、「よろしくお願いします。」で終わる。
- ・着席し、自己評価を記入する。

聞き手

- ・話し手を見て集中して聞く。
- ・どのスピーチも同じ基準で聞く。
- ・スピーチが終わったら拍手をする。
- ・評価表の記入
メッセージ欄には、良かったところやアドバイスを書く。

月 日

自己紹介をしよう 【スピーチ】

年 組

・話材・・・趣味・特技・好きなもの・国語の学習目標・春と言えば・・・など
必ず **名前** と を入れること

・スピーチメモ・・・自分がいちばん言いたいことを効果的に聞き手に伝えられるように、話し出しやまとめの言葉、話の順序などを考え、メモをするとよい。

時間

60秒

自己評価の根拠

自己評価

10
点

国語の学習目標

授業の最初にあたって（国語について・先生へ）

声を届ける —— みんなに聞こえるように

月 日

()さんへ



()より

— 発表の評価 × —

はっきりと、 よく聞こえる	
速さ・強弱に 気をつける	
間のとり方を 考える	